

東日本高速道路株式会社 北海道支社
支 社 長 宮入 徹往

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 串内橋（鋼上部工）工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	設計書番号 1 コンクリートA 1－1 のコンクリート材料について ・7/3 日公表資料で、コンクリート材料単価は公表となりますでしょうか。 ・非公表の場合、市場単価（富良野地区）2誌平均と考えて良いでしょうか。 ・セメント種類は普通ポルトランドセメントと考えて良いでしょうか。 ・膨張剤・高性能AE減水剤などの添加はないと考えて良いでしょうか。	入札公告1 質問に関する注意事項⑤、⑧に記載のとおり、積算にすることや参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。
2	設計書番号 2 コンクリートA 1－3 のコンクリート材料について ・7/3 日公表資料で、コンクリート材料単価は公表となりますでしょうか。 ・非公表の場合、市場単価（富良野地区）2誌平均と考えて良いでしょうか。 ・セメント種類は普通ポルトランドセメントまたは高炉セメントB種のどちらをお考えですか。	入札公告1 質問に関する注意事項⑤、⑧に記載のとおり、積算にすることや参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。

番号	質問事項	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> ・膨張剤・高性能A E減水剤などの添加はないと考えて良いでしょうか。 	
3	<p>設計書番号 3</p> <p>コンクリートA 1－4のコンクリート材料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/3日公表資料で、コンクリート材料単価は公表となりますでしょうか。 ・非公表の場合、市場単価（富良野地区）2誌平均と見て良いでしょうか。 ・セメント種類は普通ポルトランドセメントまたは高炉セメントB種のどちらをお考えですか。 ・膨張剤と高性能A E減水剤を添加と考えて良いでしょうか。 	入札公告1 質問に関する注意事項⑤、⑧に記載のとおり、積算に関することや参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。
4	<p>設計書番号 4</p> <p>コンクリートP 2－2のコンクリート材料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/3日公表資料で、コンクリート材料単価は公表となりますでしょうか。 ・非公表の場合、市場単価（富良野地区）2誌平均と見て良いでしょうか。 ・セメント種類は早強ポルトランドセメントと考えて良いでしょうか。 ・膨張剤・高性能A E減水剤などの添加はないと考えて良いでしょうか。 	入札公告1 質問に関する注意事項⑤、⑧に記載のとおり、積算に関することや参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。

番号	質問事項	回 答
5	設計書番号 14 鋼構造物の架設鋼橋の架設B（Y）について 7/3日公表資料で、トマム橋TCベント架設に使用する 750t 吊クローラークレーンの単価及び重機分解組立運搬費は 公表となりますでしょうか。	トマム橋の架設に使用する 750t 吊りクローラークレーンの単価及び重機分解組立運搬費については、設計図書を参照のうえ、貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上ください。
6	設計書番号 15 鋼構造物の架設高力ボルト本締工について 設計書番号 16 鋼構造物の架設高力ボルト本締工（Y）について トマム橋の高力ボルト本締め工を昼夜で分けていると思 いますが、各工種の高力ボルト本数と高力ボルトの規格 (首下サイズ)をご提示願います。	夜間施工を行う高力ボルトの本数については、設計図書を訂正いたします。 高力ボルト首下サイズについては設計図をご確認下さい。
7	設計書番号 17 鋼橋の現場溶接工について 設計図の数量総括表には加重平均板厚の記載がありません。 コンサル成果を確認すると現場溶接延長、加重平均板厚 は下記となっています。 串内橋：現場溶接延長 225.16m (225.2m) 、加重平均板 厚 19mm (記載なし) トマム橋：現場溶接延長 27.36m (33.3m) 、加重平均板 厚 26mm (記載なし) ※ () 内数値は設計図書の数量明細表より串内橋の現場 溶接延長は、コンサル成果の数値と合致しますので、加	トマム橋の現場溶接延長は 27.36m が正となります。 後日訂正します。 また、加重平均板厚については、割掛対象表参考内訳 書をご確認下さい。

番号	質問事項	回 答
	<p>重平均板厚はコンサル成果の数値を採用されていると考えられますが、トマム橋の現場溶接延長は、設計図書の数量明細表、図面の数量総括表とも異なるので、加重平均板厚も変更されていると考えられます。積算するにあたり串内橋、トマム橋各々の加重平均板厚(t)と一発注工事当たりの加重平均板厚(t)をご提示願います。</p>	
8	<p>設計書番号 18~22 単価項目支承E－1、E－2、E－3、E－4、E－5について 7/3 日公表資料で、支承の単価は公表となりますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑧に記載のとおり、参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。</p>
9	<p>設計書番号 24 排水装置排水ますAについて 7/3 日公表資料で、排水ますの単価は公表となりますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑧に記載のとおり、参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。</p>
10	<p>設計書番号 25~27 排水装置排水管A、C1、C2について 7/3 日公表資料で、排水管、伸縮継手、排水管支持金具等の単価は公表となりますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑧に記載のとおり、参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。</p>
11	<p>設計書番号 30~33 落橋防止構造A1、A2、A3、A4について 7/3 日公表資料で、PCケーブルの単価は公表となりますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑧に記載のとおり、参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。</p>

番号	質問事項	回 答
12	<p>設計書番号 40～43 飛雪防止柵工A、B 1、B 2、B 3について 7/3 日公表資料で、飛雪防止柵工A、B 1、B 2、B 3の 材料単価、設置歩掛は公表となりますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項⑤、⑧に記載のと おり、積算に関することや参考積算条件書に関する質 問にはお答えできません。</p>
13	<p>計書番号 44～45 壁高欄カバープレートA、壁高欄カバープレートBにつ いて 特記仕様書30頁(3)材料で、「防錆処理は、溶融亜鉛め つきとし、各部材の亜鉛付着量は設計図面に記載の通 り」と記載があります。設計図面で、串内橋のカバープ レートはSUS304材(皿ボルトナット共に)、トマム橋のカバープ レートもSUS材と記載があります(皿ボルトナットには防錆 処理の記載なし)ので、設計図面の通り、カバープレート に関する材料は串内橋、トマム橋とともに全てSUS304材と 考えて良いでしょうか、また7/3日公表資料で、カバープ レート、インサートアンカー、皿ボルトの単価は公表 となりますでしょうか。非公表の場合、トマム橋上部工 設計図面番号43,44/75 トマム橋伸縮装置(その1)(その 2)に材料表の記載がありませんので、材料の詳細がわか るものを開示願います。</p>	<p>壁高欄カバープレートの材質については、設計図に記 載のとおり、SUS304材が正となります。後日特 記仕様書を訂正します。 また、材料の詳細については、トマム橋上部工設計図 図面番号43,44/75 トマム橋伸縮装置(その1)(その2) に材料を記載し訂正いたします。 なお、単価の公表に関しては、入札公告1 質問に関 する注意事項⑧に記載のとおり、参考積算条件書に 関する質問にはお答えできません。</p>

番号	質問事項	回 答
14	<p>設計書番号 44~45 壁高欄カバープレートA、壁高欄カバープレートBについて 7/3 日公表資料で、カバープレートの設置歩掛は公表となりますでしょうか。または令和7年度版橋梁架設工事の積算 P3-304、壁高欄カバープレート設置工〔PC 橋〕歩掛を適用でしょうか、ご教示願います。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項⑤、⑧に記載のとおり、積算に関することや参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。</p>
15	<p>設計書番号 46 除雪工除雪作業Aについて除雪作業の作業区分は昼間作業・夜間作業どちらを想定されていますでしょうか。</p>	<p>特記仕様書 25-3 のとおり、昼間作業となります。</p>
16	<p>設計書番号 48 地覆止水板工について 7/3 日公表資料で止水板材料、アルミニウム板、幅 10 cm ×厚さ 0.5mm (JIS H 4000:2022) のm単価と設置歩掛は公表となりますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項⑤、⑧に記載のとおり、積算に関することや参考積算条件書に関する質問にはお答えできません。</p>
17	<p>設計書番号 50~53 鋼構造物の製作製作材料費スクラップ費について 物価資料単価は北海道地区帯広単価、札幌単価のどちらを採用していますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。</p>
18	<p>設計書番号 53 鋼構造物の製作製作材料費(形鋼)Aについて H 形鋼(SM400A)のベース価格はH 形鋼(大形)、橋梁用 H 形鋼どちらを採用されていますでしょうか。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。</p>

番号	質問事項	回 答																																																																																																																																		
19	<p>設計書番号 55～59 鋼構造物の製作大型部材の製作、小型部材の製作、T 接手溶接、板継溶接工、板継溶接工、中間横桁部材の製作について受領のコンサル成果品、串内橋の工数算定要素集計表の数値と数量明細表・設計図の数量総括表とを確認しましたが、数値が下記の通り一致しております。</p> <table border="1" data-bbox="354 568 938 949"> <thead> <tr> <th colspan="2">串内橋</th> <th>数量</th> <th>数量総括表 数量明細</th> <th>コンサル成果</th> <th>誤差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型材片</td> <td>材片数</td> <td>個</td> <td>180</td> <td>209</td> <td>-29</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材片重量</td> <td>kg</td> <td>393,862</td> <td>417,448</td> <td>-23,586</td> </tr> <tr> <td>小型材片</td> <td>材片数</td> <td>個</td> <td>1,892</td> <td>1,861</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材片重量</td> <td>kg</td> <td>85,343</td> <td>88,300</td> <td>-2,957</td> </tr> <tr> <td>部材数</td> <td></td> <td>個</td> <td>-</td> <td>89</td> <td>-89</td> </tr> <tr> <td>総加工鋼重</td> <td></td> <td>kg</td> <td>0</td> <td>505,748</td> <td>-505,748</td> </tr> <tr> <td>570材</td> <td></td> <td>kg</td> <td>0</td> <td>87,737</td> <td>-87,737</td> </tr> <tr> <td>綴部材数</td> <td></td> <td>-</td> <td>89</td> <td></td> <td>-89</td> </tr> <tr> <td>板継溶接</td> <td></td> <td>m</td> <td>225.2</td> <td>0</td> <td>225.2</td> </tr> <tr> <td>T継溶接</td> <td></td> <td>m</td> <td>2,283.5</td> <td>2,284.0</td> <td>-0.5</td> </tr> <tr> <td>中間横桁部材</td> <td>材片数</td> <td>個</td> <td>29</td> <td>0</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材片重量</td> <td>kg</td> <td>23,432</td> <td>0</td> <td>23,432</td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼構造物の製作大型部材の製作、小型部材の製作、T 接手溶接、板継溶接工、板継溶接工、中間横桁部材の製作の費用算出あたり設計数量と合致した工数算定要素集計表のご提示をお願い致します。</p>	串内橋		数量	数量総括表 数量明細	コンサル成果	誤差	大型材片	材片数	個	180	209	-29		材片重量	kg	393,862	417,448	-23,586	小型材片	材片数	個	1,892	1,861	31		材片重量	kg	85,343	88,300	-2,957	部材数		個	-	89	-89	総加工鋼重		kg	0	505,748	-505,748	570材		kg	0	87,737	-87,737	綴部材数		-	89		-89	板継溶接		m	225.2	0	225.2	T継溶接		m	2,283.5	2,284.0	-0.5	中間横桁部材	材片数	個	29	0	29		材片重量	kg	23,432	0	23,432	<p>串内橋の鋼構造物の製作に関して、下表のとおりとお考え下さい。設計図書に誤りがあったので、後日訂正します。</p> <table border="1" data-bbox="1192 441 1747 830"> <thead> <tr> <th></th> <th>数量</th> <th>当初</th> <th>訂正</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大型材片</td> <td>材片数 個</td> <td>180</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材片重量 kg</td> <td>393,862</td> <td>394,126</td> </tr> <tr> <td>小型材片</td> <td>材片数 個</td> <td>1,892</td> <td>1,860</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材片重量 kg</td> <td>85,343</td> <td>88,382</td> </tr> <tr> <td>部材数</td> <td>個</td> <td>-</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>総加工鋼重</td> <td>kg</td> <td>-</td> <td>505,940</td> </tr> <tr> <td>570材</td> <td>kg</td> <td>-</td> <td>87,808</td> </tr> <tr> <td>綴部材数</td> <td></td> <td>-</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>板継ぎ溶接</td> <td>m</td> <td>225.2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>T継溶接</td> <td>m</td> <td>2,283.5</td> <td>2,283.5</td> </tr> <tr> <td>中間横桁部材</td> <td>材片数 個</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td></td> <td>材片重量 kg</td> <td>23,432</td> <td>23,432</td> </tr> </tbody> </table>		数量	当初	訂正	大型材片	材片数 個	180	180		材片重量 kg	393,862	394,126	小型材片	材片数 個	1,892	1,860		材片重量 kg	85,343	88,382	部材数	個	-	89	総加工鋼重	kg	-	505,940	570材	kg	-	87,808	綴部材数		-	89	板継ぎ溶接	m	225.2	0	T継溶接	m	2,283.5	2,283.5	中間横桁部材	材片数 個	29	29		材片重量 kg	23,432	23,432
串内橋		数量	数量総括表 数量明細	コンサル成果	誤差																																																																																																																															
大型材片	材片数	個	180	209	-29																																																																																																																															
	材片重量	kg	393,862	417,448	-23,586																																																																																																																															
小型材片	材片数	個	1,892	1,861	31																																																																																																																															
	材片重量	kg	85,343	88,300	-2,957																																																																																																																															
部材数		個	-	89	-89																																																																																																																															
総加工鋼重		kg	0	505,748	-505,748																																																																																																																															
570材		kg	0	87,737	-87,737																																																																																																																															
綴部材数		-	89		-89																																																																																																																															
板継溶接		m	225.2	0	225.2																																																																																																																															
T継溶接		m	2,283.5	2,284.0	-0.5																																																																																																																															
中間横桁部材	材片数	個	29	0	29																																																																																																																															
	材片重量	kg	23,432	0	23,432																																																																																																																															
	数量	当初	訂正																																																																																																																																	
大型材片	材片数 個	180	180																																																																																																																																	
	材片重量 kg	393,862	394,126																																																																																																																																	
小型材片	材片数 個	1,892	1,860																																																																																																																																	
	材片重量 kg	85,343	88,382																																																																																																																																	
部材数	個	-	89																																																																																																																																	
総加工鋼重	kg	-	505,940																																																																																																																																	
570材	kg	-	87,808																																																																																																																																	
綴部材数		-	89																																																																																																																																	
板継ぎ溶接	m	225.2	0																																																																																																																																	
T継溶接	m	2,283.5	2,283.5																																																																																																																																	
中間横桁部材	材片数 個	29	29																																																																																																																																	
	材片重量 kg	23,432	23,432																																																																																																																																	
20	<p>設計書番号 55 鋼構造物の製作大型部材の製作について 串内橋、トマム橋ともに仮組立省略と考えて良いでしょうか。</p>	<p>土木工事共通仕様書（R6.7月版）10-6-4 に記載のとおりです。</p>																																																																																																																																		

番号	質問事項	回 答
21	<p>設計書番号 58 鋼構造物の製作板継溶接工について 板継溶接 225mと記載がありますが、図面を確認したところ板継溶接は無いと思われます。受領したコンサル成果品を確認しましたが、工数算定要素集計表にも板継溶接は計上されておりません。また NEXCO 土木工事積算基準によると、板継溶接の溶接延長はサイズ 6mm のすみ肉溶接に対する換算長となっていますが、225mは 6mm 換算長でしょうか。板継溶接の部位と板継溶接 6mm 換算長、工数算定要素集計表をご提示願います。</p>	<p>ご指摘のとおり板継ぎ溶接はございません。 設計図書に誤りがあったので、後日訂正します。</p>
22	<p>設計書番号 59 鋼構造物の製作中間横桁部材の製作について製作歩掛は横構部材の製作、又は対傾構部材の製作どちらを採用されていますでしょうか。それ以外の場合は製作歩掛をご教示ください。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。</p>
23	<p>設計書番号 62 伸縮装置Aについて トマム橋上部工設計図図面番号 50/75 トマム橋排水装置図(その 5)にある床版水抜きパワフローワーク及び伸縮部排水の材料費及び設置費が伸縮装置Aに計上されていると考えて良いでしょうか。</p>	<p>伸縮装置 E に計上されているとお考え下さい。後日設計図書を訂正いたします。</p>

番号	質問事項	回 答
24	<p>設計書番号 62 伸縮装置Aについて トマム橋上部工設計図図面番号 43, 44/75 トマム橋伸縮装置(その1)(その2)の注記に「鉄筋は伸縮装置に含むものとする」と記載があります。鉄筋表より全てエポキシ樹脂塗装鉄筋と記載がありますが、加工工場からの運搬費は計上されていますでしょうか。 また、物価資料のエポキシ樹脂塗装費は「北海道は適用不可」となっているため単価の公表をお願いします。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。</p>
25	<p>設計書番号 63~64 検査路A 1、B 1について NEXCO 土木工事積算基準にはF R P 検査路の設置歩掛がありません。適用する積算基準は、国土交通省積算基準または橋梁架設工事の積算を適用されていますでしょうか。 7/3 日公表資料で明示があるかと思いますが、適用する場合、R6 年度、R7 年度どちらを採用されるかご教示願います。</p>	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。</p>
26	<p>設計書番号 49 諸経費①について 本工事の施工地域を考慮した共通仮設費及び現場管理費の率の補正に係る施工地域区分をご教示ください。</p>	<p>間接工事費の補正区分の有無については、7月3日公表の参考積算条件書をご確認して下さい</p>

番号	質問事項	回 答
27	損料について 本工事では豪雪補正はされておりますでしょうか、ご教示願います。	入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。
28	壁高欄カバープレート工において、特記仕様書P30にはプレートの防錆処理が溶融亜鉛めっきと記載があり、各部材の亜鉛付着量は設計図面に記載とありますが、設計図面に亜鉛付着量がなくカバープレートはSUS304との記載があります。本工事の壁高欄カバープレートの防錆処理は亜鉛めっきもしくはSUS304どちらを正と考えればよろしいでしょうか。	壁高欄カバープレートの材質については、設計図に記載のとおり、SUS304材が正となります。後日特記仕様書を訂正します。
29	壁高欄カバープレート工において、トマム橋で計上する壁高欄カバープレート、インサートアンカー、ボルトの寸法および規格の明示がありません。想定している材料規格についてご教示ください。	材料の詳細については、トマム橋上部工設計図図面番号43,44/75 トマム橋伸縮装置(その1)(その2)に材料を記載し訂正いたします。
30	本工事で使用する建設機械損料は北海道の単価を想定していると考えてよろしいでしょうか。	入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。
31	溶接風防設備等費のなかで、串内橋のエレクションピース364個、トマム橋ではエレクションピース42個と記載があり、1溶接線7個のエレクションピースを想定していると思われます。また、参考図のエレクションピースは1溶接線あたり8個の組合せで記載されております。エレクションピースの個数はどちらを正と考えればよろしいでしょうか。	入札公告1 質問に関する注意事項⑥に記載のとおり、参考図に関する質問にはお答えできません。 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。

番号	質問事項	回 答
32	鋼構造物の架設において地組立に使用するクレーン機種は、桁架設用と同じクレーンを想定していると考えてよろしいですか。	入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。 貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
33	共通仮設費・現場管理費は、施工地域を考慮した補正を行っているでしょうか。また、補正をしている場合、施工地域区分をご教示ください。	間接工事費の補正区分の有無については、7月3日公表の参考積算条件書をご確認して下さい。
34	現場管理費の算出において、冬季率は加味されているのでしょうか。加味されている場合、想定している工事期間および工期についてご教示ください。	入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。
35	表面保護工の施工について、固定足場または移動足場（高所作業車）のどちらでの施工を想定しているかご教示ください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
36	土木工事積算基準の構造物の架設工事の中に現場溶接による接合が行われる場合に、ケーシングの設置費を計上するように記載があります。また本工事の割掛対象表の中に風防設備費が計上されておりますが、架設工事から風防設備を除き、割掛にて計上すると考えてよろしいでしょうか。	ご指摘のとおり、鋼構造物の架設にケーシング設備等の現場溶接に必要な設備が計上されております。後日設計図書を訂正します。

番号	質問事項	回 答
37	風防設備（鋸折用）損料（基礎価格）、風防設備（鋸折用）賃料の単価は、NEXCO 東日本の土木工事単価ファイルの金額を用いていると考えてよろしいでしょうか。	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。</p> <p>また、現場溶接に必要な風防設備に関しては、質問番号9番への回答のとおり、訂正いたします。</p>
38	本工事の夜間作業時間が特記仕様書P6, 7において作業時間は21:30～翌5:30とあります。労務費の補正には夜間割増に加えて、著しい時間的制約を受ける補正を加味していると考えてよろしいでしょうか。	<p>入札公告1 質問に関する注意事項 ⑤に記載のとおり、積算の考え方に関する質問にはお答えできません。</p> <p>貴社の施工計画に基づき必要な費用を計上ください。</p>
39	現場溶接工においてトマム橋で33.3mの現場溶接数量の記載がありますが、設計成果品では36.5mと記載があります。どちらを正と考えればよろしいでしょうか。	トマム橋の現場溶接延長は27.4mが正となります。後日設計図書を訂正します。
40	特記仕様書P6の9-1冬季休止期間において工期内の11月16日から翌年4月30までの期間は作業を行ってはならないと記載がありますが、9-2冬季休止期間における作業では冬季休止期間に架設工等の作業を行う旨、記載があります。冬季休止期間の作業についてどちらを正と考えているかご教示ください。	令和7年4月11日掲載の質問書と回答並びに令和7年5月12日付訂正公告をご確認ください。
41	土木工事積算基準は、令和6年度7月1日改定の土木工事積算基準と考えてよろしいでしょうか。	土木工事積算基準書は、令和6年7月1日改定の基準書を適用ください。
42	単価適用月は、北海道支社内土木工事設計材料単価表は、令和7年4月、市販単価は、令和7年度7月と考えてよろしいでしょうか。	材料単価については、本工事入札時点における最新の単価を適用ください。

番号	質問事項	回 答
43	間接費の施工地域の補正は、補正なしと考えてよろしいでしょうか。	間接工事費の補正区分の有無については、7月3日公表の参考積算条件書をご確認して下さい。
44	労務費単価は、令和7年3月の単価と考えてよろしいでしょうか。	労務費単価は令和7年3月の単価を適用ください。
45	建設機械等損料は、令和7年の単価と考えてよろしいでしょうか。	建設機械等損料は令和7年の単価を適用ください。
46	特記仕様書P30、金抜き設計書47番において金抜き設計書では、除雪工(機械拘束A)が6台・月と記載がありますが特記仕様書では5ヶ月を想定と記載があります。金抜き設計書を正(6台・月)として考えてよろしいでしょうか。	除雪工(機械拘束A)の拘束期間は工事行程表のとおり、串内橋の令和9年12月、令和10年12月、令和11年1月、2月、3月、トマム橋の令和10年4月の計6か月とお考え下さい。
47	設計図50/75において床版水抜きパイプ、フレキシブルチューブの記載がありますが計上先は、金抜き設計書25番の排水装置(排水管A)で計上されていると考えてよろしいでしょうか。	床版水抜きパイプ、フレキシブルチューブについては、伸縮装置Eに計上されているとお考え下さい。後日設計図書を訂正いたします。
48	架設計画図5/7(串内橋)、3/4(トマム橋)において支承架設は、25tRCで架設、橋台背面に据付できると想定していると考えてよろしいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。

以 上